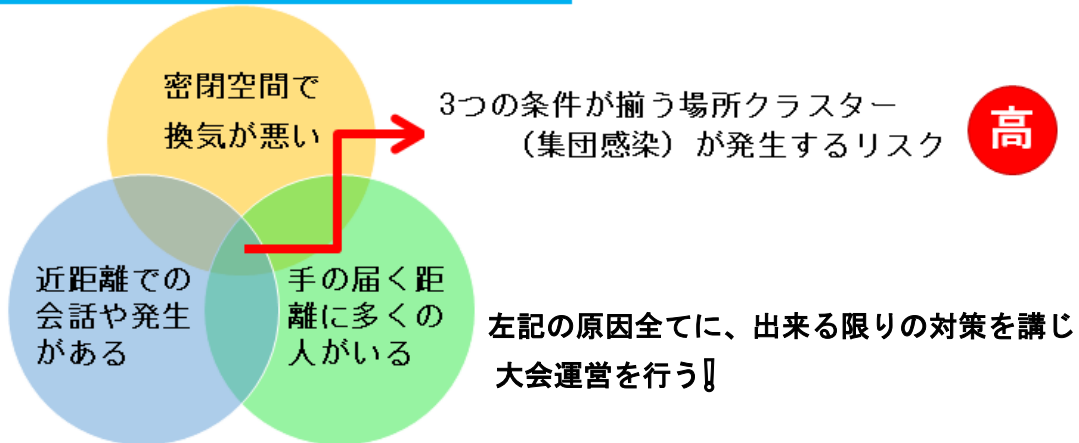


第 14 回全九州トランポリン競技選手権大会

コビット19 感染拡大防止ガイドライン

クラスター発生リスク 3つの条件



1. 飛沫感染（ウィルスの暴露率低減）対策

- 1) 競技フロアのドアと窓は常時解放。
- 2) 監督会議・審判会議・開・閉会式の時間短縮。
- 3) マスク・マウスガード・フェイスガード等の着用
※競技時と半径2M以内に人がいない時は不要
- 4) フロアへは選手とスポッター（最少人数）以外は立ち入り禁止。
- 5) 撮影終了後は速やかに撮影エリアから退出。
- 6) 声を出しての声援とハイタッチ等は禁止。
- 7) 観覧応援席は各家族単位でソーシャルディスタンスを意識して着席。

2. 接触感染対策

- 1) アルコール消毒液の設置
体育館入口1本、出口1本、トイレ出入口1本、審判台1本を設置。
- 2) アルコール消毒
トランポリンのフレームパットをグループ毎に実施。

3. 衛生管理

- 1) 健康状況確認
健康状態チェックシートと2週間分の検温の提出と入館時の検温。
- 2) 体育館は入口と出口を設定し一方通行とする。
- 3) 観客席の入館人数を管理する為、応援者名簿の提出とIDカード発行。

※参加した者の中に感染者が出た場合は公的機関の調査等に協力をする。

ちなみに、「濃厚接触者」とは、発症の2日前から1メートル以内を目安に、感染予防策なしで15分以上接触（会話等）した人を指します。

競技会運営方法

1. 各会議の時間変更

予選日に余裕を持たすために、金曜日に監督会議・審判会議・開会式を短時間で実施する。

2. 開会式について

1) 開会式は規模縮小の為、参加選手を下記の通りとする。

- ① 役員は連盟会長、熊本県協会会長、連盟理事、審判長のみ参加とする。
- ② 優勝杯等の返還選手は全員参加。
- ③ 参加者は各チーム代表で4名とする。但し、優勝杯等の返還選手は含まない。
- ④ 開会式参加選手の保護者、審判、監督・コーチは観覧席にて観覧可とする。

2) 次第（案）

- ① 開会宣言
- ② 連盟及び主管団体会長挨拶（短時間）
- ③ 優勝杯返還
- ④ 選手宣誓

3. 前日練習・予選・決勝

分散入館を実施する。

1) 体育館への入館選手は、下記の2グループとする

- ① 選手招集グループ
- ② 試技のグループ

2) 前日練習

練習1時間前に集合、当日の流れを行います。

3) 競技会の流れ（別紙参照）

練習1時間前に集合、健康チェックシート提出⇒検温後⇒IDカードを受け取り入館

⇒ 着替え ⇒ 選手集合多目的ホール（試技順確認）

⇒ アップ（2F エントランス） ⇒ 体育館内で整列

⇒ 審判挨拶 ⇒ 練習・試技 ⇒ グループの試技終了後流れ解散

※アップは2F エントランスで実施。

※体育館内は一方通行とする。

※応援者の入館は選手と同時期に行う。

4. 閉会式は規模縮小の為、参加選手を下記の通りとする。

1) 閉会式の参加選手

- ① 各カテゴリー優勝者
- ② 6位までの入賞選手と各チーム代表1名（但し、入賞選手を含む）。

2) 次第（案）

- ① 成績発表 優勝者のみ賞状とカップ、メダルは手渡しとする。
賞状は最初のみ音読
- ② 講評（短時間）
- ③ 閉会宣言